

講義コード	1196	科目区分	基礎教育科目(基礎)
(フリガナ)	ゲイジツブンカロン	(フリガナ)	イシカワ ショウイチ、コネガワ マドカ
授業科目名	芸術文化論	担当教員名	石川正一、古根川 円
英文授業科目名	Arts and Culture		
基準年次(開講期)	2年生(前期)	履修形態	選択必修
曜日/時限/講義室	月曜日/5時限/音楽演習室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	言葉 歌 コミュニケーション 美 表現 時代精神		
授業概要・目的	我々は日常生活の中で、「芸術」や「文化」という言葉をよく耳にします。しかし、その意味が何かといえ、なかなか難しいことに気付くはずで、この授業では人間の音楽(聴覚)や絵画(視覚)表現について考察し、今を生きる自分自身を見つめ考えることを目的とし授業を行う。		
到達度評価の 評価項目	①芸術と人間との関わり方について深く考え、自身の生き方に反映させた意見を言うことができる ②芸術といわれるものに触れ、何が素晴らしいと言われていたかを理解し、根拠について自分なりの説明ができる ③自身が考える芸術に近づくように演習を行うことができる		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 授業の進め方		
第2回	音楽のはじまり① ことばはなぜ生まれたのか		
第3回	音楽のはじまり② はじまりは歌だった		
第4回	音楽のはじまり③ 情動から歌が生まれた		
第5回	音楽のはじまり④ 感情と情動		
第6回	つながるコミュニケーション① 楽曲による比較		
第7回	つながるコミュニケーション② 感情の伝達(練習)		
第8回	つながるコミュニケーション③ 感情の伝達(発表と討議)		
第9回	絵画の歴史を覗いてみる 西洋美術史を中心に		
第10回	美を比べてみよう① ギリシャ彫刻とガンダーラ美術、そして日本の仏像		
第11回	美を比べてみよう② ベルサイユ宮殿と拙政園、そして桂離宮		
第12回	美を比べてみよう③ 鳥獣戯画と浮世絵、そして漫画		
第13回	「美しいもの」と「醜いもの」 その境界にあるものを見つめる		
第14回	人間の表現を考える 原始美術と子どもの絵画		
第15回	まとめ 表現と時代精神、そして未来を見つめる		
教科書・参考書等	適宜配布資料を用意する		
授業で使用する 機器等	ビデオ、プロジェクター、ピアノ		
予習・復習への アドバイス	毎回課題を出しますので必ず出席し取り組んでください		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	芸術や文化に対する自分なりの考えを持つことができたか。以下の2つの観点から評価を行う 1、レポート(60/100) 2、授業への関心・意欲・態度(40/100)		
メッセージ	音楽や美術が苦手な人も受講してください。きっと音楽と美術と同様に人間に興味を持てるかもしれません。		
オフィス・アワー			
その他	平成29年度は「音楽」の講義を行います		